

特選  
2021  
日本銀行  
総裁賞

## 第19回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール

# エシカル消費で持続可能な社会へ

東京都・東京都立国際高等学校 2年 時津 和花

先日、ツイッターでバズっていたベルギー製のトリュフチョコレートを購入した。チョコレートを食べようとしたとき、正直食べづらいと感じた。個包装されていないため、手も汚れるし、保存も面倒、それに角も潰れてしまっている。スーパーマーケットに並んでいる日本のお菓子の多くは消費者の快適性を重視した、個包装の商品が多い。私は普段そのような利便性に長けた商品に慣らされているので、ベルギー製のチョコレートの包装は面倒だと感じたのだと思う。ここで果たして消費者の快適性に配慮した商品をよしとする私の感覚は正しいのかという疑問を抱いた。

私は小学校4年生のときドイツに住んでいたことがある。あるときイギリス人の友人宅に日本の煎餅をお土産として持っていった。すると、「美味しそうだけど、過剰包装だね」と友人の父に言われた。私が持参した煎餅は個包装になっていただけでなく、すぐに割れたりしないように、さらにプラスチックのトレイに収められていたからだ。私は当時、菓子類の包装について環境への配慮という観点から考えてみたことがなかった。日本のお菓子は利便性を追求し、とても丁寧に包装されているのが普通であったから、過剰包装だなどとは思ってことがなかったのである。

友人の父のように普段の消費活動において、過剰包装のような些細なことに気づくことは、環境保全を推進していく上でとても大切だ。そのような気づきから消費行動を変えることは、環境、社会問題の解決に繋がるとても重要な心がけである。このような、環境や社会、地域にとってより良い商品やサービスを選択することをエシカル消費と呼ぶそうだ。私はこのときの友人の父の言葉をきっかけにエシカル消費について考えるようになった。

エシカル消費という考えを知った私がドイツの街に出ると、2014年当時、フェアトレードの商品を取り扱う店が幾つかできていることに気づいた。その

店の中でも、母と私は一つのアパレルショップに入店した。

「COTTON100%」、「FAIR TRADE」というラベルのついた洋服が多く売られており、値札を見ると一般的な洋服の値段よりも少し高価だということに気づいた覚えがある。母とフェアトレードのシャツを見ていると、店員がそのシャツはドイツのエシカルブランドの商品だということを教えてくれた。そのブランドの商品は全てオーガニックコットンなどの環境に優しい素材を使用していて、更には人権に配慮し、生産の過程で係わったバングラデシュなどの発展途上国の労働者への賃金の保障をしているそうだ。

私は、このファッションブランドのエシカルへの取り組みについて聞き、自分の中で新しく洋服を買うときの判断基準ができた。今まで私は洋服を買う際、流行のデザインであるか、価格が安いかどうかで服を選んできた。しかし、私が流行の安い洋服ばかりを選択し消費することが、環境破壊や発展途上国の低賃金で働かされているような人々の苦しみに繋がってしまうのかもしれないのである。これからもっと多くの人に商品、サービスを購入する際、自分の個人的な好みや金銭的な事情だけでなく、エシカルかどうかということも判断基準にして欲しいと思う。一度立ち止まって自分の選択は適切なのかどうか考え、慎重になることは、消費者一人一人が起こせる持続可能な社会への一歩である。

しかし、地球規模の気候変動や遠い異国での労働問題を「自分事」として捉えるのはそう容易なことではない。私自身も、環境問題や人権問題は事が大きすぎるあまり、自分が変わったところで社会全体は変わらないのではないかと消極的になってしまうこともある。そんなときは、実際にエシカル消費を怠った場合の結果が見えると意識も変わるのではないかと思う。私が今回エシカル消費について具体的に調べていた際に衝撃を与えられた事故がある。それは、2013年に起きたファッション史上最悪の事故と呼ばれる「ラナ・プラザ崩壊事故」だ。バングラデシュで8階建ての商業ビルが崩れ、1,000人以上の死者、500人の行方不明者、2,500人以上の負傷者を出した<sup>1)</sup>。スウェットショップだったラナ・プラザは、違法に増築されており、以前から危険性が指摘されていたものの、工場の管理者は労働者を低賃金で劣悪な環境で働かせていたのだ。このように、私たち消費者が自分本意の選択をし続けると目に見えないところで労働者を苦しませ、最悪の事態を引き起こすこともあるのだ。

では、賢い選択を求められる消費者はどこからその商品がエシカルかどうかを判断すれば良いのだろうか。ここで、実際買い物をする際に参考になる国際フェアトレード認証ラベルを紹介したい。国際フェアトレード認証ラベルがついた商品は、社会的、環境的、経済的基準について定めた国際フェアトレード基準を満たしている。その基準というのは、生産者への適正な価格と長期的な取引、生産者の社会的・経済的な発展、生産者の品質と技術の向上、生産者の労働環境と労働条件（強制労働と児童労働の禁止の徹底）、生産地の環境保全（農薬使用、水質、森林、土壌の保全、廃棄物の扱いに関し国際規約を遵守）、といった五つであり、これらを守っている商品にのみラベルが貼られる。その商品の原料が生産されてから、輸出入、加工、製造過程を経て販売されるまで国際フェアトレードラベル機構が定めた国際フェアトレード基準が守られていることを証明しているのである<sup>2)</sup>。ラベルのついた商品はサプライチェーンの追跡が可能であり、大きく人権に配慮している。国際フェアトレード認証ラベルのついた商品を買うことは、私たち消費者がその商品が前述したような基準を満たしているかどうかを審査し、問題がないことを判断された商品を買った、ということになるのだ。私たちのエシカル消費に役に立つ国際フェアトレード認証ラベルだが、未だ普及は進んでいない。けれども、エシカルなのはラベルがついた商品だけというわけでもない。

人権、環境、社会に配慮している企業から商品やサービスを買うこともエシカル消費への貢献に繋がる。エシカルへの取り組みは、前述したエシカルブランドのようなファッション業界のみならず、様々な業界で広がっている。先日SNSで大きく話題になっていたのは、タイガー魔法瓶だ。特に注目されていたのが、アフリカなどの国で武装勢力の資金源として採掘されているような紛争鉱物を使わないということだ。そして、15歳以下の労働者のいる企業への発注はしないこと、コストがかかっても自社工場で製品を製造し、下請けの工場などに製造を丸投げしないなど、労働者の人権を守っている。環境に対しては、環境負荷の高いフッ素コーティングを使わずとも同等レベルの防染を別の技術を使うことで実現しており、何度も買い直すことがないよう、長い間使えるよう丈夫になっているそうだ。また、自分で持ち歩く水筒であるマイボトルを使うことは、年間252億本消費される、プラスチックペットボトルの削減に寄与すると

いうことを訴えている<sup>3)</sup>。持続可能な社会を目指すための企業の取り組みは他にもある。例えば、花王は製品の輸送の際、二酸化炭素の排出が最小限になるようトラックの輸送と船送を組み合わせ、環境負荷の低減に取り組んでいる<sup>4)</sup>。イケアは2025年までに食事メニューの半分を植物由来の原料に切り替えたり、中古家具を売る店舗を開設した<sup>5)</sup>。ファーストリテイリングは取引先リストの公開を行い、適切な労働環境に配慮するため、サプライチェーンの透明性を向上させた<sup>6)</sup>。このように、企業のエシカル消費への取り組みは消費者に好印象を与え、物やサービスを購入する際の判断基準になることから、非常に魅力的なアピールポイントになるのだ。積極的に社会、環境、人権に配慮した商品やサービスを消費することが、生産者のビジネススタイルも変えている。今後さらに多くの消費者の意識が変わり、買うものも変われば、それに伴ってエシカルでない商品やサービスは市場から退場していく。結果的に市場には社会、環境に優しい商品やサービスが残る。つまり、エシカルな選択をすることは市場を変え、最終的には持続可能な社会へシフトするきっかけになるのだ。

結論として、私たちにとって大切なのは、普段の生活から積極的に消費に対する意識、行動を改め、エシカルに暮らすことだ。地球規模の問題だとしても「自分事」として捉える。それが持続可能な社会を目指し、実際にそれを達成することに繋がるのだ。世の中全体で協力し、まずは目の前の身近なところから一步一步、着実に解決に取り組んでいきたい。

(注)

- 1) IDEAS FOR GOOD 「ラナ・プラザ崩落事故とは・意味」  
URL <https://ideasforgood.jp/glossary/rana-plaza-collapse/>
- 2) サステナビリティ・ESG 投資ニュースサイト 「国際フェアトレード認証ラベル」  
URL <https://sustainablejapan.jp/2015/06/17/fairtrade-label/16469>
- 3) タイガー魔法瓶プレスリリース 「タイガー魔法瓶が『社内ペットボトル使用ゼロ』2020年10月1日より実施」  
URL [https://www.tiger.jp/news/press\\_release/pr\\_201001\\_02.html](https://www.tiger.jp/news/press_release/pr_201001_02.html)
- 4) 花王サステナビリティ データブック 「2020年の活動報告 よりすこやかな地球のために」  
URL <https://www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/klp-pr-2021-20.pdf>
- 5) イケア 「ニュースルーム」  
URL <https://www.ikea.com/jp/ja/newsroom/>

6) ファーストリテイリング「サステナビリティ 取引先工場リスト」

URL <https://www.fastretailing.com/jp/sustainability/labor/list.html>

<参考文献>

- ・ 未吉里花『はじめてのエシカル』山川出版社 2016年
- ・ WARM HEARTS「エシカル消費とは？その意味と今日からできることをわかりやすく紹介」  
URL [https://www.charity-coffee.jp/ethical\\_consumption/](https://www.charity-coffee.jp/ethical_consumption/)
- ・ FASHIONSAP.COM「エシカルファッション」「フェアトレード」って何？  
URL <https://www.fashionsnap.com/article/ethical-fairtrade>
- ・ 朝日新聞 2020年12月30日「(共生のSDGs 明日もこの星で：3) 環境に優しい服って、おしゃれ水・電力の使用抑え新素材」
- ・ 東京暮らし WEB「エシカル消費ってなに？」  
URL <https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/manabitai/ethical/start1.html>
- ・ SDGs one by one「エシカル消費とSDGs！あなたの買い物が未来を変える？」  
URL <https://sdgs.city.sagamihara.kanagawa.jp/ethical-sdgs/>

